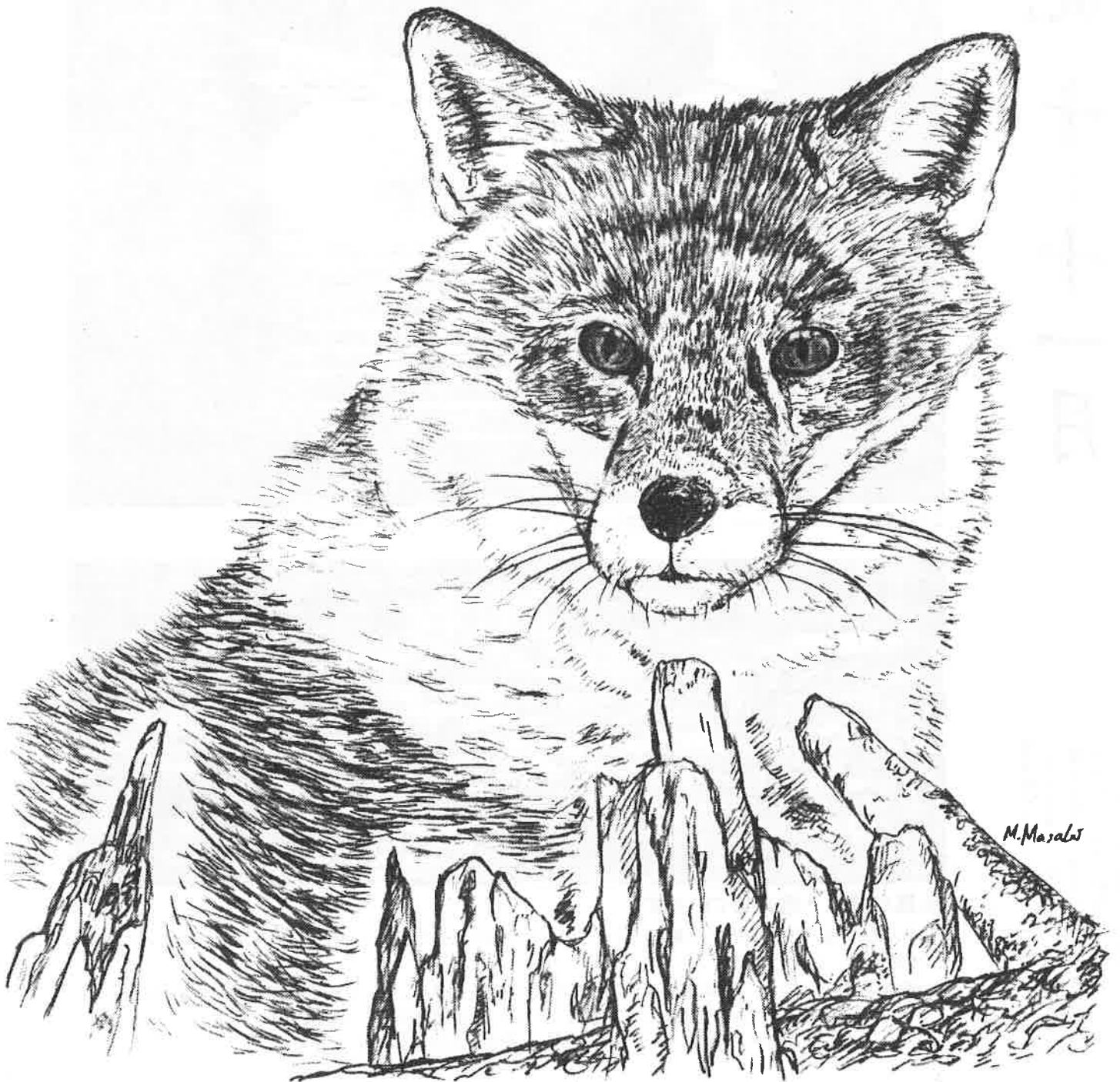


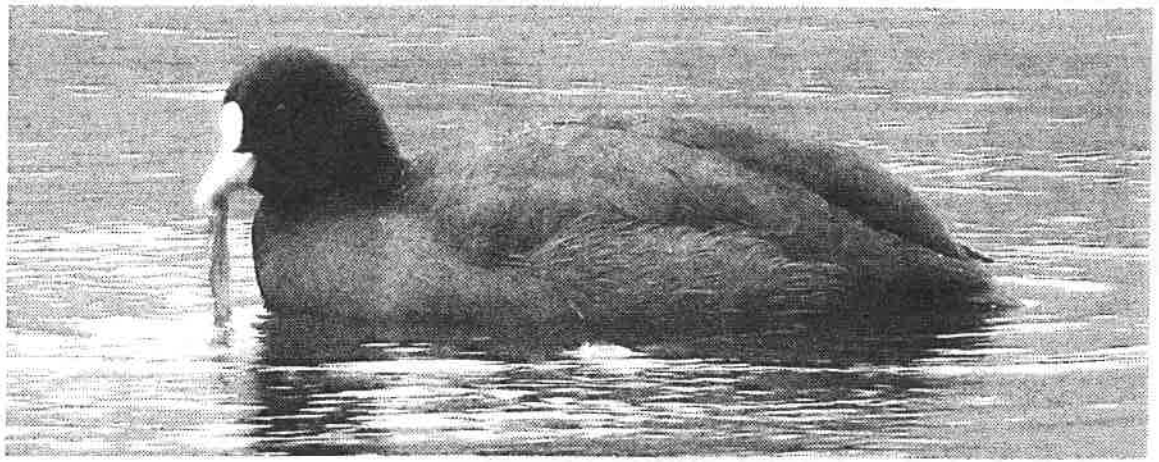
# 楓通信

1-2月号

ホンドキツネ *Vulpes vulpes japonica*



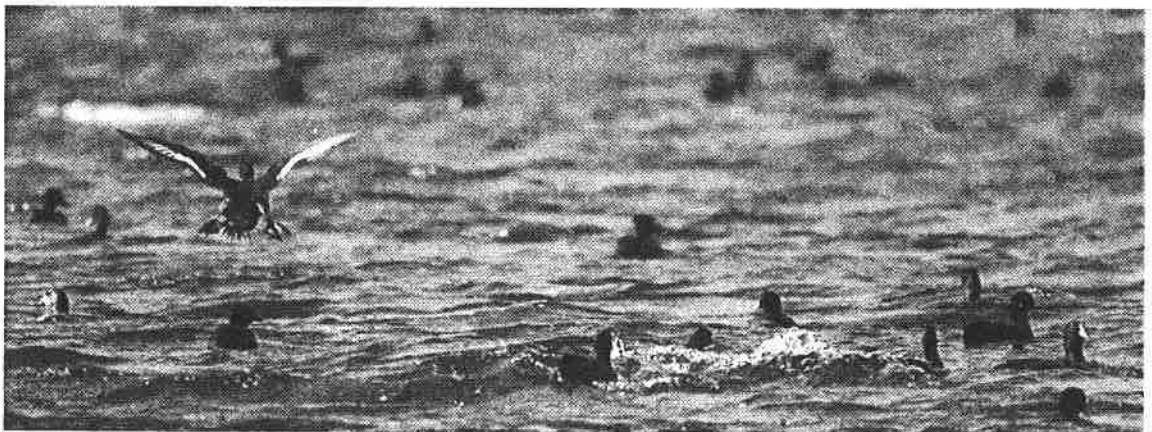
# 奥日光歳時記 十一月



オオバン 比較的近い距離で、水草を食べる様子などが観察できる。



ヒドリガモ 色合いとふくふくとした形が可愛い。くちばしの先が黒いのもポイント。



## 水鳥が続々と飛来しています

湯ノ湖に、続々と水鳥たちが集まってきています。ヒドリガモたちの「ピューイ」という鳴き声も、日に日に賑やかになってきました。

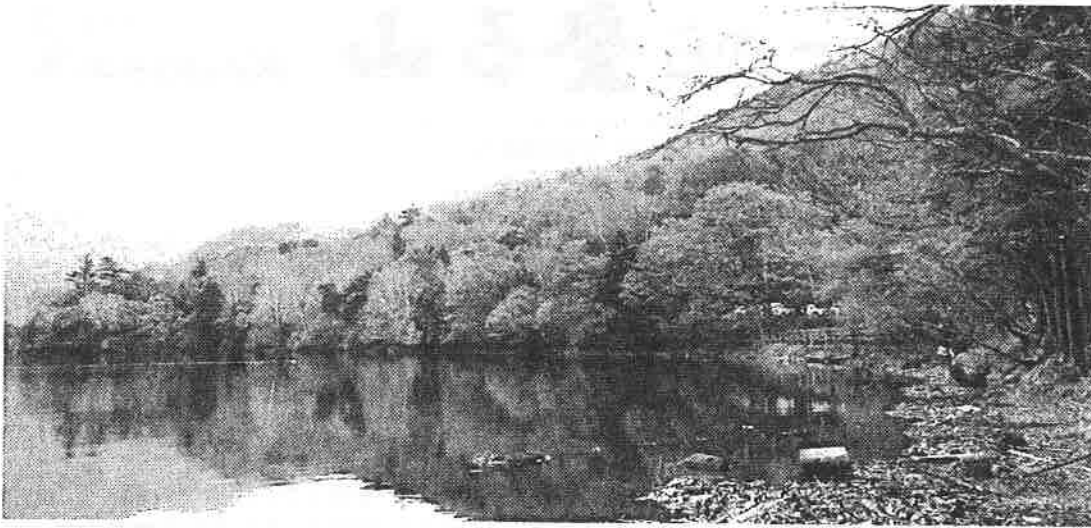
楓通信 114号では、水鳥の飛来時期と個体数の話を書きました。今年も例年と傾向は変わらないようで、シーズン始めの10月は、ヒドリガモとオオバンの割合が多くなっています。

ハシビロガモやオカヨシガモなども、少数ながら目撃され始めています。

### 文◆みつ

この冬は寒さに耐えながら、夜な夜な星  
景写真を撮りまくる日々。好きな星は、  
すばる(プレアデス星団)。

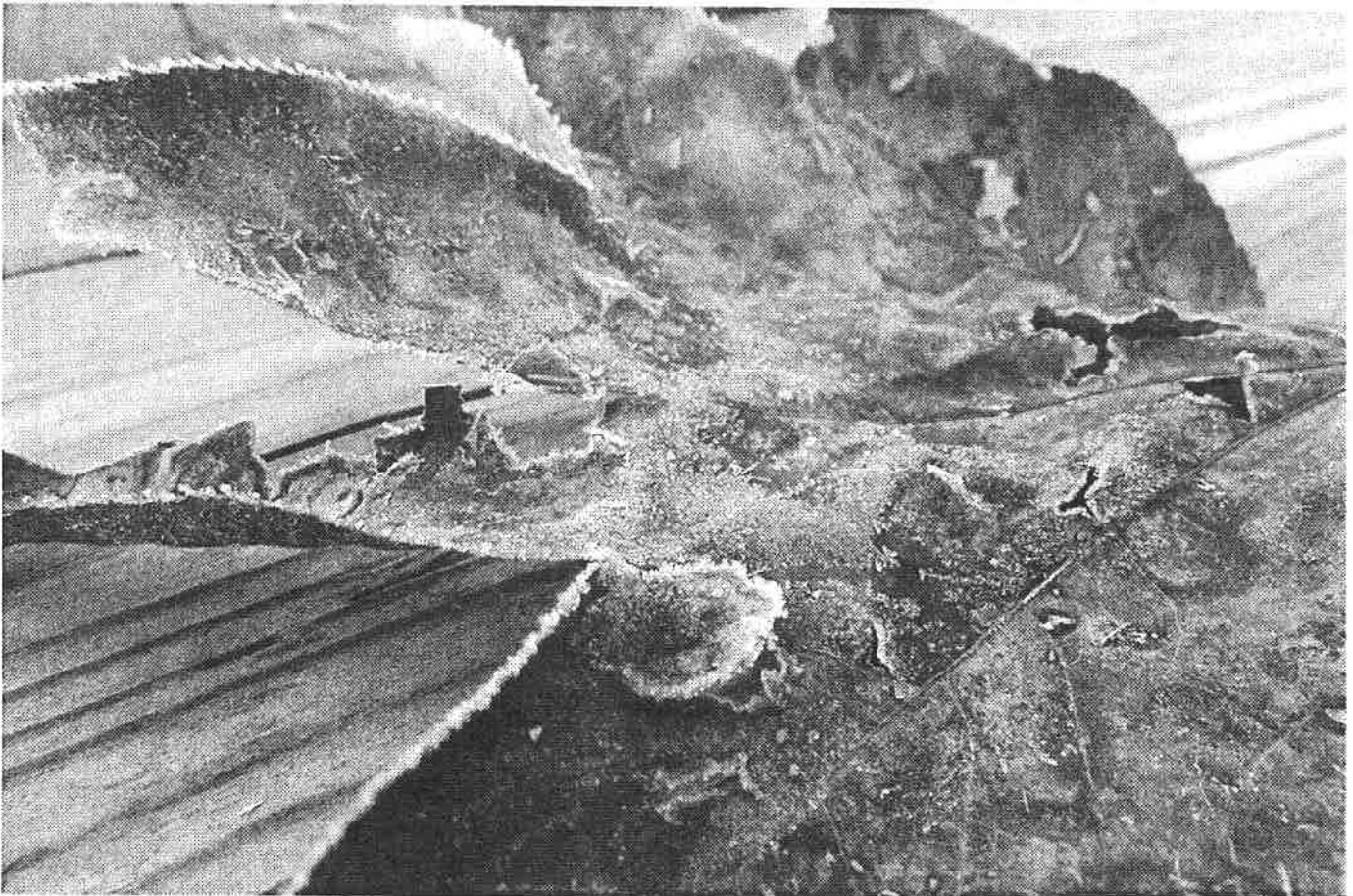




### 今年の紅葉は当たり年

楓通信 119号では「今年は日照不足なので紅葉への影響が心配です」と書きましたが、どうやら杞憂だったようです。いざ紅葉シーズンを迎えてみると…今年の色付きはとつても鮮やかではありませんか！長年勤務しているスタッフも「最近5年間では今年が一番綺麗だ」と言っていました。

例年と比べて1週間ほど早く色付き始めましたが、今年の10月は台風や大雨もなく穏やかな日が続いたためか、見頃の期間も例年より長かったように感じました。



### 戦場ヶ原の初霜・初氷は10月3日

毎年、紅葉の季節になると話題にでる、戦場ヶ原の初霜・初氷。今年は、昨年より12日遅い10月3日でした。例年観測される9月の後半に気温が高い日が続いたことが、要因の一つかもしれません。

その反動からか、10月に入るとグッと冷え込む日が多くなり、結果的に紅葉も例年より早まりました。…ということは、そろそろ初雪が？なんて考えてしまいましたが、11月中旬現在は、暖かい日が戻ってきたためか、まだ初雪・初冠雪の情報は入ってきません。

文◆サンシロー .....  
湯元で2度目の冬を迎えます。昨年は、あまりの寒さに体がついていかず苦労しましたが、今年は準備万端！  
今から楽しみです。まだ冬の奥日光は未体験という方、当センターでお待ちしています。

## ●皆さんは冬も山に登りますか？

夏山は行くけど、冬は雪がおっかなくて・・・という方もいると思います。実は湯元温泉では、スノーシューの専用コースで雪の森歩きを楽しめるのです。

今回は、湯元のスノーシューコースをご紹介します。

## ●スノーシューを使ってみよう

スノーシューとは、靴の底に装着し、雪上を歩くための道具です。かんじきと似ていますが、用途はちよつと違います。

かんじきが傾斜地や作業向きなのに対し、スノーシューは雪原などの傾斜のゆるい道を歩くことに向いています。登るというより、歩くことに特化した道具なのです。



P.12にレンタル情報

## ●スノーシューは敷居低い、雪山は敷居高い

「そんな難しそうなものには・・・」と、当センターにも大変謙虚に怖がる方がいらっしゃいますが、スノーシューで歩くこと自体はとっても簡単です。ただし！ 雪の山に入るのは、夏山にはないリスクが伴います。道が分からない、寒くてもう一歩も歩けない・・・なんてことにならないよう対策が必要です。



## ●そんな対策までして、なんで雪の山に行くの？

1. 独断ですが、山は雪の時が一番綺麗です。紅葉や新緑に勝るとも劣らない魅力があります。
2. ヤブが雪に覆われ、どこでも歩けるようになります。登山道に縛られず、たまらなく自由な気分。

## ●スノーシューコース

湯元には、目印のリボンを辿ってだけで一周できるスノーシューコースが3本もあります。それぞれ特徴的なコースで、3本とも制覇したくなることウケあいです。

### 【石楠花平】

展望抜群のコース。湯元温泉街、湯ノ湖、男体山を、冬の澄んだ空気の中で一望できる。コース大半にそれほど勾配はないが、泉源から金精道路の区間はそこそこキツイ。

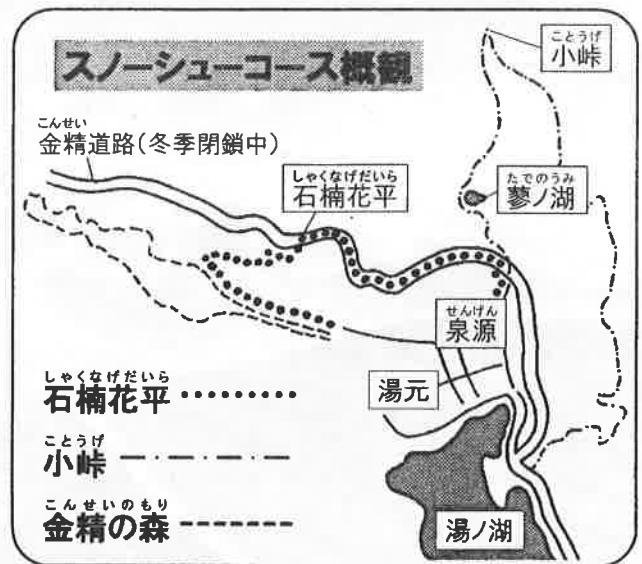
### 【小峠】

最も長く、高低差があるコース。小峠までくと深山の中にいる気分を味わえる。長いので途中で力尽きないように、まずは他のコースで体力を測ってみてから挑みましょう。

道中にある<sup>たでのうみ</sup>蓼ノ湖は、冬場にしか近付けない隠れ名所。

### 【金精の森】

今回の特集でご紹介します！ 5ページ ➡



## 安全に楽しむために

雪は大好きだけど、痩せ過ぎ&末端冷え性のため相性は最悪のサンシローが、身をもって体験したスノーシューの注意点。

### 締め付けない

グローブも靴下も2重履きしてキツキツだと血が回らなくなり、だんだん感覚が無くなってきます。

ピリピリ痛くなってきて、体は暖かいのに手先指先が限界！ とならないように気をつけてください。

### 着込みすぎない

寒いからと着込みすぎると、歩いている内に汗をかき、休憩中にその汗が冷えて、グツと体温が下がります。

こうなると、動いていないと寒くて我慢できなくなり、休憩もできずにひたすら歩き続ける、超ハードな山行に・・・。

### 欲張らない

雪の上を歩くのは約3倍のエネルギーを使うと言われていています。健脚の方でも、まずは様子見て短い距離から歩き始めてください。

もし雪の森の中で体力を使い切って動けなくなったら、命の危機です。同様にスケジュールにも十分余裕を！

今回ご紹介するのは、3つのコースの中でも短めな「<sup>こんせいのもり</sup>金精の森」コース。

未体験の雪の森へ分け入り、道なき道を踏破する、スノーシューの醍醐味を楽しめます！

### まずは湯元温泉へ

当センターでスノーシューを借りたら早速出発！ スノーシューを手に温泉街を北へ歩いていきます。道路は凍結箇所が時々あるので気をつけてください。ゆるい傾斜になっていますが、ここで汗をかいているようだ到着込みすぎです。

### 迷わずに歩くには

白根山登山口に着いたら、いよいよスノーシュー装着！ 湯元ならではのパウダースノーへ踏み出しましょう。

スノーシューコースにはコース沿いの枝や幹にリボンが巻いてありますので、これを辿れば一周して帰ってくるができます。リボンは二手に分かれおり、右回り左回りどちらでもできますが、今回は左の森の中へ進んでみましょう。

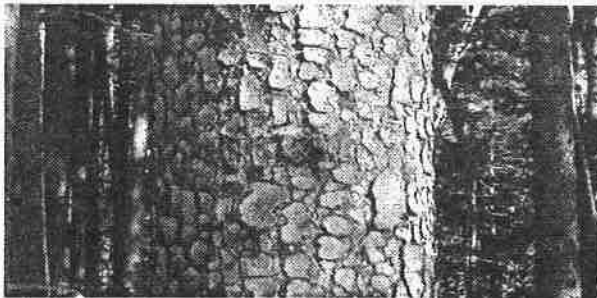
### リボンを探して

いきなり見通しの悪い針葉樹林帯になりますが、リボンを探しながら歩く練習をしましょう。まだ温泉街が近いので、自分のトレース(足跡)を辿ればすぐに戻れます。小さな起伏が沢山ありますが、登ったり降りたり、練習にもぴったりです。

### 風雪をしのぐ森林の傘

リボンを辿ってしばらく歩くと、背の高い針葉樹林帯に出ます。ここまでの道と違い、すっきりとした雰囲気です。

この森には、トウヒというちよつと湯元の周りでは見られない針葉樹が生えています。灰色で亀の甲羅のように割れた幹をしています。針葉樹はどれもよく似ていますが、ちゃんと特徴があるんですね。雪の降る中では、ちよつとした傘になり愛着が湧いてきます。



【トウヒの樹皮】うろこのように裂けた樹皮がひとときわ眼をひく。

### さあここから登りです！

針葉樹林帯を抜けると視界が急に開け、真っ白な雪の斜面が！ ここからは登りになります。ここまでの道と比べると、コース取りの選択肢がグンと増えます。先行者のトレースを辿って体力を温存するもよし、ふかふかしたまっさらな新雪に足跡を刻むのもよし…存分に雪を楽しんでください。リボンは見失わないように気をつけてくださいね。

### 気をつけるべき場所

右手のポコッと落ち込んだ所は、沢です。左手の斜面は、雪が溜まると崩れてくる可能性があります。

そんなところを紹介するなよ！ と思うかもしれませんが、ドキドキしながら、自分の足で歩くから雪山はいつそう魅力的に映り、心を揺さぶるような体験を与えてくれます。自然への畏敬の念が、自ずと湧いてくることでしょう。

### 折り返し地点はダケカンバ

岩と雪ばかりのハードボイルドな山・<sup>こんせいざん</sup>金精山がだんだん大きく見えてきます。右手に大きなダケカンバ(しわくちやの幹、サンゴのような枝振りが特徴です)が現れたら、そこがこのコースのピーク、あとは下るだけです。振り返れば、木々の合い間から男体山が望めます。

ダケカンバから進んでいくと、開けた場所に出ます。休憩するのによさそうですが、ここは雪崩スポットなので速やかに通過してください。

### 雪の森を見渡してみよう

ここから先は、つづらおりの道をのんびり下っていきます。もうスノーシューにもすっかり慣れてしまいマンネリ化しがちですが、余裕が出てきたところで、森の中をよーく観察してみてください。雪の上は動物の足跡が見つけやすくなっています。たとえ姿が見えなくても、足跡だらけの雪面は寒い冬を懸命に生き抜く動物達の姿を物語っています。

また、耳を澄ませると鳥達の鳴き声が聞こえるかもしれません。この時季、ゴジュウカラやコガラなどの小鳥は、別種の鳥と大きな群れを作り、森の中を徘徊しています。もし、群れの移動ルートに偶然入りこんだら…。あなたの頭上を飛び交い、おしゃべりに鳴き交わす鳥達の姿を、間近で眺めることができますよ。



【群れなす小鳥】探偵に夢中な小鳥達は、驚くほど近づいてくることがある。

### やっぱり帰りは温泉

下っていると色の違うリボンが出てきます。これは石楠花平コースのリボンです。こちらは今回のコースと比べるとコース取りの選択肢は狭まりますが、見晴らしのいいコースです。次回はぜひこちらをどうぞ。

まもなく、最初に森に入った地点に着きます。約4時間で一周です。帰りは温泉で冷えた体を温めてお帰りください。疲れと寒さ、温泉を気持ちよく楽しむには最高のコンディションです。雪山を歩いてすぐに濃い天然温泉に浸かれるのは、温泉地・湯元ならではの楽しみですね。

スタッフと歩く  
スノーシューイベント  
詳細は 10 ページ ➡



10月4日、戦場ヶ原の朝。  
秋の終わり、冬の始まり。



男体山から昇る朝陽に輝くススキ。  
冬がくれば、雪原となる。



ズミの実を夢中で食べるヒガラ。  
今はもう、すっかり食べ尽くされている。



換羽が進み、じきに戦場ヶ原を去るノビタキ。  
ホザキシモツケの中を飛び回る様子も、慌しくみえてくる。



# 日光の気象

文◆辻岡 .....  
 気象予報士の資格を持つ当センター所長が、  
 毎回1テーマを分かりやすく解説します。  
 .....

## ■中禅寺湖はなぜ凍らない？（パート2）

楓通信 109号では、中禅寺湖が凍りにくい理由として湖が深いことを挙げました。今号では、湖が深いとなぜ凍りにくいのか、少し詳しく探してみたいと思います。

右のグラフは、水産庁の資料から1980年のデータを引用して作った中禅寺湖の水温の1年間の変化を示したものです。

湖面に近いところでは、水温の季節変化が非常に大きくなっています。冬には4℃前後であった水温は、春から夏にかけて上昇し、夏には20℃以上まで上がっています。

一方、およそ60mより深いところでは、1年を通じて3℃から4℃程度を保っています。水は4℃のときに一番重くなるので、重い水が中禅寺湖の下の方に溜まっているのです。このため、冬には表面から湖水の底まで、水温は一律に3℃から4℃になっています。

湖水が凍るためには、湖面の水温が0℃まで下がり、それが一定期間続かなければなりません。奥日光観測所の1月の平均気温はマイナス4.1℃、2月が同3.9℃と十分に低いため、湖面の水温が一時的に0℃になることは考えられます。しかし、その下に大量の4℃前後の水があり、そこから熱の供給を受けるので、水温はすぐに0℃以上に温まってしまいます。

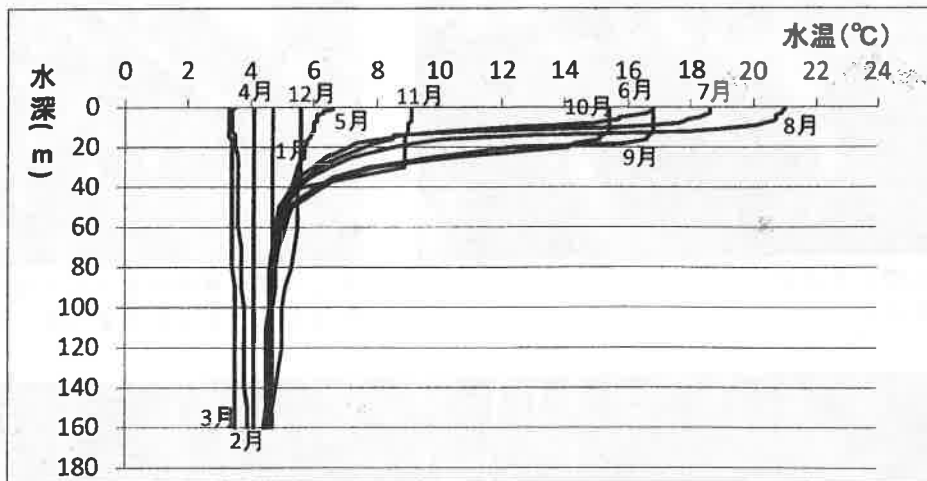
右のグラフは、1973年から1984年の1年で最も水温が低くなる時期の、水温分布を表したものです。60mより深いところではどの年も3℃前後でありあまり変わりませんが、それより浅いところは年によりかなりの変化があります。寒い年には湖面の水温が0℃に近づいていきますが、大抵の年は0℃になるまでに春を迎え、結氷には至りません。

1984年の水温を点線で示しましたが、この年の1月の平均気温はマイナス6.6℃、2月が同8.2℃と平年と比べて極めて低温であったため、湖面の水温が0℃に到達し、それが持続したため全面結氷しました。しかし、60mより深いところの水温はむしろ高く、湖水の冷え方には不思議が残ります。

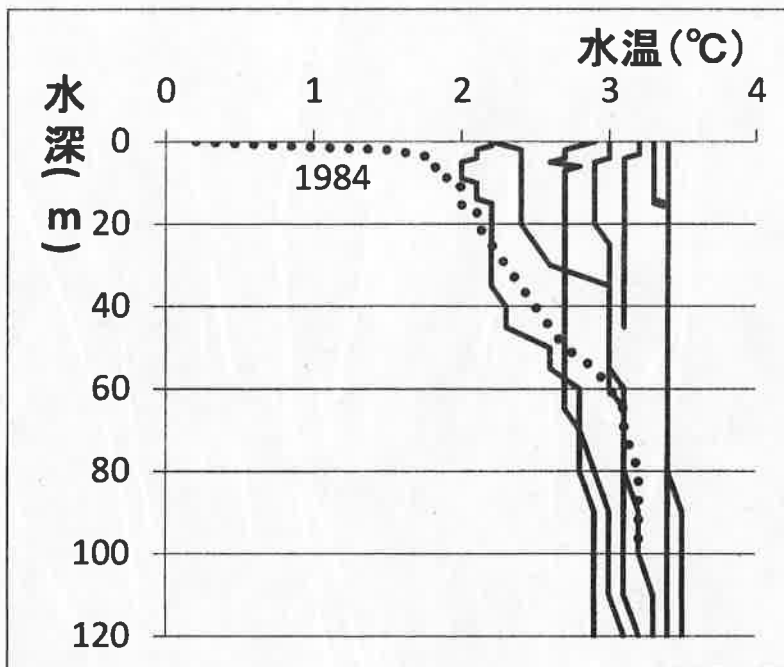
### 水温データ文献

『中禅寺湖及び湯の湖の観測結果報告』  
 水産庁養殖研究所 1983年12月

『「奥日光の魚と水域」魚シリーズX I』  
 NPV自主研修会資料 2015年3月14日



中禅寺湖の水深に対する水温の年変化(1980年)



中禅寺湖の水深に対する水温の最低水温期での経年変化(1973年-1984年)

## ■奥日光の気象情報

### 2015年の平均気温・湯元

	1月	2月
最高気温	-2.8℃	-2.6℃
最低気温	-8.3℃	-8.6℃

※自然公園財団日光支部公園班の記録より

### 2016年 日の出の入り(宇都宮)

	1/1	2/1
日の出	6:52	6:43
日の入	16:35	17:05

※国立天文台ホームページより

### 天文情報

	1月	2月
新月	10日	8日
満月	24日	23日

1/4 しぶんぎ座流星群が極大

※国立天文台ホームページより

# クマ目撃情報

奥日光は、クマ(ツキノワグマ)の生息地です。  
日光湯元ビジターセンターでは、目撃情報を収集・公開しています。

## 目撃箇所(9月21日~11月20日)

- ・柳沢林道
  - ・三本松駐車場裏林道
  - ・市道1002号線西方(通称:熊道) 2件
  - ・中禅寺湖北岸
- 合計 5件

目撃の有無に関わらず、全域的に生息していることにご留意ください。

クマが冬眠する時季となってきました。冬眠する場所は樹洞、岩穴、木の根元にできた穴、倒木の下などで、自分で穴を掘ることはないようです。平常時の体温は37℃前後で、冬眠中の体温は34℃とあまり下がらず、外部からの刺激により起きだすことがあります。

冬の森を散策中にぼっかり開いた穴を見つけても、のぞかないようにしましょう。

参考『日本動物大百科 哺乳類』平凡社

# 施設・交通 冬季閉鎖期間

各名称末尾の番号と、下記問合せ先の番号が対応しています。

## 施設

赤沼自然情報センター⑥	12/1~4/25
イタリア大使館⑥	12/1~3/31
中禅寺ボートハウス⑥	12/1~3/31
さかなと森の観察園③	12/1~3/19
日光湯元レストハウス②	12/1~4/1上旬
あんよの湯(足湯)①	12/14~4/12

【年末年始 OPEN】12/30~1/3

## 交通

湯ノ湖歩道⑨	積雪次第(12~5月頃)
男体山登山④	10/26~5/4
東武バス⑦	11/24~3/31※冬タイヤ
低公害バス⑥	12/1~4/25
中禅寺湖遊覧船⑤	12/1~4/8
金精道路⑪	12/25~4/25
山王林道⑩	12/2~4/28
(奥鬼怒林道)	
中宮祠足尾線⑪	11/27~4/8
(旧中禅寺湖スカイライン)	

## トイレ

湯ノ湖畔⑧	11/下旬~4/下旬
湯滝⑧	12/1上旬~4/中旬
小田代原⑧	11/下旬~4/中旬
赤沼自然情報センター⑥	12/1~4/25
千手ヶ浜⑥	12/1~4/25
西六番園地⑩	12/3~4/下旬
歌ヶ浜⑧	12/4~4/下旬
イタリア大使館前⑩	12/3~3/下旬
華厳滝第一⑥	12/4~4月中旬
明智平⑧	未定

## ★冬も使えるトイレ



日付は予定であり、積雪状況等により変更される場合があります。特に、期間前後はお気をつけください。詳細は下記問合せ先まで。

## 問合せ先 (市外局番 0288)

①日光湯元ビジターセンター	62-2321	④日光二荒山神社中宮祠	55-0017	⑧日光市総合支所観光課	53-3795
②レストハウス 夏季 62-2156 冬季 62-2535		⑤船の駅中禅寺	55-0360	⑨日光自然環境事務所	54-1076
③増養殖研究所日光庁舎	55-0055	⑥日光自然博物館	55-0880	⑩県西環境森林事務所	21-1178
		⑦東武バス日光営業所	54-1138	⑪栃木県日光土木事務所	53-1211

# 新常設展示紹介

## ライトセンサス日記

ライトセンサス調査の結果を、ホワイトボードに掲示します。いつでもどこにでもシカがいたかが、ひと目で分かります。

サルは有名ですが、日光のシカのことにはあまり知られていません。この展示で、まずは「奥日光にはシカが沢山いる」ことを感じていただければと思います。

## ライトセンサス調査とは

戦場ヶ原周辺のシカの増減傾向を把握するため、毎月2回行います。目が反射して光る性質を利用して、夜間に車から左右をライトで照らして探し、発見場所や頭数、雌雄、年齢などを記録します。シカ以外の哺乳類についても、簡単に記録します。



## ●業務担当「シカ班」より

日常業務の中で、目撃し、痕跡をたどり、直に触れているので、私たちにとって、シカは非常に身近な存在です。

全国で問題となっているシカの増加…。生息分布地点(シカの生息が確認された場所)は昨年度までの36年間で、約2.5倍にもなったことが報告されています。栃木県では、保護管理計画に基づき、実に20年近く農林業被害や国立公園の植生被害への対策を行っていますが、解決は難しく、今後も継続が必要でです。

ライトセンサス調査後の夜間帰宅中、道端にいるのを見るたびに「頼むから飛び出してくれるなよ…」と念じてしまいます。(こだぬき)



# ビジターセンター主催イベント

## イベントレポート Pick up

山ガールの社山トレッキング 9/27(日) 8:30~16:30

当日8時半、集合場所の歌ヶ浜から見た社山はすつぽりと雲に覆われており、「雨が降るのでは？」という不安を抱えたまま出発しました。しかし、女性だけの和気あいあいとした明るい雰囲気のおかげか、天候も徐々に回復！ 最後には上から少し紅葉し始めた中禅寺湖を望むことができました。一人で参加された方もすぐにお友達ができ、頂上でのお昼もお弁当のおかずやお菓子の交換会が行われ、終始賑やかな登山となりました。

今回の参加者の中には「仲間と登ったから登頂できた」と感じた方もいました。皆さんも、ぜひお友達と自然を満喫しながらの登山を計画されてみてはいかがでしょうか。(えみ)



## 今後のイベント 1~3月 スノーシュー クロスカントリースキー 雷あそび

### \*スノーシュー

雪の中を自由に歩き回るためには、専用の道具が必要です。スノーシューはそんな道具のうちのひとつ。

スノーシューを履けば、足が雪に沈むことなくどこへでも歩いていくことができます。

日光湯元ビジターセンターでは、初めてスノーシューに挑戦するアナタも、体験したことはあるけれどガイドなしではまだ不安なアナタも楽しめる2種類のイベントを企画しています。

★初めて挑戦するアナタには…

#### 半日体験コース

### やってみようスノーシュー

スノーシューに慣れることを目的に、湯元温泉周辺を散策します。

日程 1月9日(土)  
2月6日(土)、2月27日(土)

時間 13:00~15:30

集合場所 日光湯元ビジターセンター

参加費 大人 500円、小中学生 500円  
※別途レンタル代 1000円が必要です

定員 各 15名

★ちょっと遠くまで冒険したいアナタには…

#### 1日冒険コース

### チャレンジスノーシュー

行き先は担当ガイドによってさまざま。お弁当を持って、森の奥まで歩きます。

日程 2月28日(日)  
3月5日(土)

時間 9:30~15:30

集合場所 日光湯元ビジターセンター

参加費 大人 1000円、小中学生 500円  
※別途レンタル代 1000円が必要です

定員 各 15名



# \* クロスカントリースキー

雪上散策をする時、より速く駆け抜きたい方には、クロスカントリースキーがオススメです。

スキーと聞くと、初めて体験する方には敷居が高く感じるかもしれませんが、しかし、慣れてしまえば未経験の方でも、その日のうちにスイスイ滑って楽しむことができます。

風をきって雪原を進む快感は、他では味わえません。



★初めて挑戦するアナタには…

## 半日体験コース

やってみよう

## クロスカントリースキー

初めて体験する方向けに、基本的な動作からやさしく説明します。

日時 1月10日(日) 10:00~12:30

集合場所 日光湯元ビジターセンター

コース 湯元内園地

参加費 大人 500円、小中学生 500円

※別途レンタル代 2000円が必要です

定員 15名

★ちよつと遠くまで冒険したいアナタには…

## 1日冒険コース

チャレンジ

## クロスカントリースキー

経験者の方向けに、高低差のある長い距離の雪上散策にでかけます。

日時 2月3日(水) 10:00~15:00

集合場所 光徳駐車場

コース 戦場ヶ原・光徳周辺

参加費 大人 1000円、小中学生 500円

※別途レンタル代 2000円が必要です

定員 15名

# \* 雪あそび



雪にふれたい、あそびたい! でも、ハイキングは疲れるからちよつと…。

そんなアナタにオススメのこのイベント。ビジターセンター周辺で、存分に雪あそびを楽しめます♪

## とことん雪あそび

日程 1月17日(日)

2月11日(木・祝)

時間 10:00~12:00

集合場所 日光湯元ビジターセンター

コース 湯元内園地

参加費 500円(どなたでも)

定員 各15名

## イベントのお問合せ・お申込み

電話・FAXにて次の事項を下記までお知らせください。

- ①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号(当日連絡のつくもの)  
⑦集合先までの交通手段⑧この催しの情報源⑨前・後泊の有無⑩レンタルの有無

環境省 日光湯元ビジターセンター(一般財団法人 自然公園財団日光支部)

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

■12月1日(火)より受付開始(先着順)

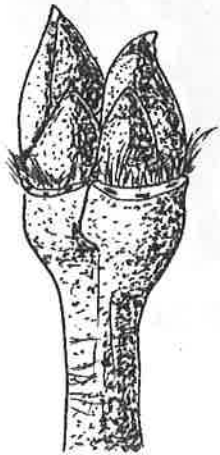
■小学生以下保護者同伴

■持ち物・服装などは、約1週間前にハガキでお知らせいたします



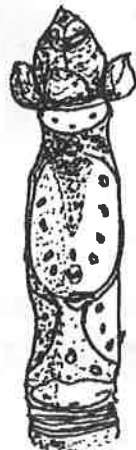
## 葉痕をさがして冬の森の中へでかけよう！

葉っぱのない森は殺風景？ いえいえ、そんなことはありません。  
枝を手にとつてよく観察すると、個性豊かな樹の表情が見つかります。



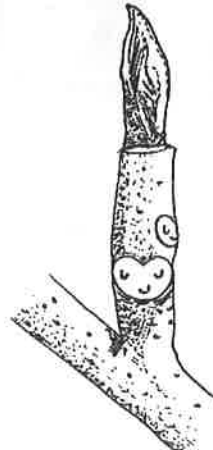
**イロハモミジ**

湯元温泉街でも見つかる葉痕。まるで小人さんが寄り添っているような可愛らしいカタチ。



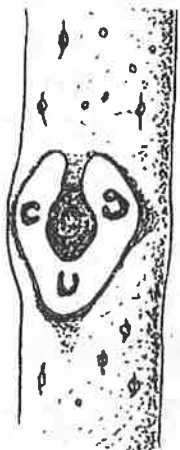
**トチノキ**

某映画に登場する「カオナシ」のようにお面のような見た目の葉痕。栃木県の木ですが、奥日光では局所的。



**サワグルミ**

森でよく会える葉痕。その名のとおり沢沿いに多く生えています。にっこり笑顔でハイカーをお出迎え。



**キハダ**

ピエロのような葉痕を見ついたら、それはキハダかも。古来より、胃薬として珍重されてきた樹木です。

### ビジターセンターには葉痕の展示が！

散策前には、ぜひビジターセンターで情報収集をしましょう。実際にサワグルミの葉痕を観察できる展示もあります。スノーシューのレンタルや地図の配布も行っているので、散策の満足度が高まること間違いなし。

### もっと知りたい方はイベントに！

雪の積もった冬の森では、葉痕以外にも様々な楽しみが待っています。雪の散策をより楽しみたい方は、ぜひイベントに参加してみましょう。ビジターセンターのスタッフが、分かりやすくご案内いたします(→ P.10、P.11)。

#### ◇日光湯元温泉スキー場

12/25~3/31(予定)

奥日光の大自然の中で、スキーやスノーボードを楽しめる。滑り方を学べる教室もあり、初心者でも安心。たくさん遊んで疲れたら、湯元の温泉で疲れを癒そう。0288-53-0900(東武興業日光事務所)

#### ◇光徳クロスカントリースキー場

12月下旬~3月下旬頃

距離や標高差によって様々なコースがあるので、初級者から上級者まで楽しめる。風をきって、林や雪原など冬景色を堪能しよう。スキー場の中心には温泉も。0288-55-0585(日光アストリアホテル)

### 開館日・開館時間のお知らせ

1月 9:30~16:30(平日休館)

2月 9:30~16:30(水曜休館)

※年末年始開館【12月29日~1月3日】

#### \*当センター冬季レンタル\*

- ・スノーシュー(大人用) 1,000円/日
- ・スノーシュー(子ども用) 500円/日
- ・クロスカントリースキーセット 2,000円/日
- ・ストック・スパッツ 各200円/日

12月下旬開始予定

#### 【表紙絵の話】

昨冬、ライトセンサス調査(P.9参照)でのホンドキツネ。ライトに照らされ、瞳孔は細く黄緑色に光っていました(絵は黒眼)。丸眼もみてみたいですね。また、キツネの眼は切れ長の印象でしたが、正面からは丸くみえるようです。(まる)

### 編集後記

編集を担当して一年。毎号試行錯誤ですが、楽しんでいただけているでしょうか◆初の編集後記では「気付けば冬を迎えていた」などと我ながらのん気なことを書いていますが、積雪や厳寒に備えてしっかり準備することが大切です◆逆に言えば、きちんとしていれば大丈夫。地元の方は、むしろ冬を楽しみにされています◆奥日光の大自然の厳しさと美しさが、真価を発揮する季節。壮大な銀世界で凜と冷えきった空気にあてられ、心も身体も砥がれるような感覚は、今も鮮烈に残っています(まる)

### 楓通信 No.120

日光湯元ビジターセンター発  
-奥日光の自然情報誌-

2015年12月1日発行  
次号2月初旬発行予定

隔月発行 一部100円  
年間購読料1,000円(送料込)

### 年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部  
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター  
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

# 霧降高原

## 「キスゲ平」通信

2015年(平成27年) 12月1日 発行

Vol.3のトピック

- ・景色が見やすい季節到来
- ・雪遊びのシーズン間近!
- ・コラム 冬に霧降高原から「霧」が消えるのはなぜ?
- ・12月のイベント
- ・植物を探せ

### 冬のキスゲ平で富士山と夜景を見よう!

空気が澄んで遠くまで見渡せるようになったこの季節、これまで台風の後など限られた時にしか見られなかった、遠くの景色を見られる機会が多くなります。

天気が良い日には階段(天空回廊)の頂上を目指して、小丸山展望台からその眺望を確かめてみてください。北北東の磐梯山から南西の富士山まで周囲190度を見渡すことが出来ます。双眼鏡があれば、太平洋に浮かぶ船も確認できます。頂上まで登るのはちょっと自信が無いという方は、東京スカイツリーや太平洋はレストハウスから、富士山は園地内歩道の1地点まで行くと見えますので、ぜひ一度チャレンジしてみたいかがでしようか?

夜になり暗くなると眼下に夜景が広がります。東京スカイツリーや東京タワーはライトアップされていますので、日中よりも簡単に見つけられます。明るい時間帯に見るのは全然印象が違って、とても幻想的です。また、標高が高く周囲に人工物が少ないので、星空も綺麗に見えます。12月14日〜15日頃に、ふたご座流星群を観測できるかもしれません。



### 冬に霧降高原から

#### 「霧」が消えるのはなぜ?

霧降高原名物の霧は、春から夏に多く、秋から冬にはほとんど発生しません。その理由は季節風と関係があります。

夏の関東平野には、日本の南にある太平洋高気圧から湿った南東の季節風が吹いてきます。

これが女峰山や赤薙山に当たり、上昇気流が起こって霧が発生しやすくなります。秋になると太平洋高気圧は南に後退し、替わって大陸の高気圧から西風が吹いてくる

ことが多くなります。この西風は乾いているうえに、霧降高原では山から吹き下ろす下降気流となり、霧は発生しにくくなります。真冬には西高東低の冬型気圧配

## 雪のキスゲ平で遊ぼう!

### 今年もスノーシュー無料レンタルやります

キスゲ平が雪にすっぽりと覆われた頃、張り切ってスノーシューを足にはめて歩き始めると意外と雪が少なく、スノーシューは不要だったかと思った途端、急に腰まで雪に埋まってしまふなんてことが時々あります。強い風で雪が飛ばされるため、同じ園内でも吹き溜まりのような雪が多い所と、雪がとてもしない所ができるのです。

例年1月を過ぎると、園内全体にたつぷりと雪が降り、スノーシューやソリ等の雪遊びが楽しめます。その頃には遊歩道の外側も利用が可能となります。ふわふわの雪の上で思いつきり遊んでみませんか?



置となり、強い西の季節風に乗って霧降高原にも雪雲がやってくることありますが、やはり下降気流となるので霧が発生することはほとんどありません。



## お知らせ

### \*冬期営業へ変更となります

12月〜3月の間は 冬期時間へ変更となります。

《営業時間》 10時〜16時まで

※レストランのラストオーダーは 15時半まで

《休館日》 毎週水曜日

※元旦営業あり

12月29日〜1月3日

### \*スノーシュー無料レンタル

積雪量等、コンディションが整い次第、レンタルを開始いたします。

園内で3時間以内のご利用となります。詳しくは霧降高原レストハウスにお問い合わせください。

【電話】 0288-53-5337

### \*交通情報

《東武バス》 3月末までの冬期は、霧降の滝までの運行となりますので、霧降高原へはタクシー等をご利用ください。

《駐車場》 キスゲ平園地の駐車場P1・P2をご利用ください。P3にあるトイレは24時間利用できます。

### 鶏うどんデビュー

レストハウス2階日 光霧降珈琲で鶏うどんが新登場!

寒くなったこの季節、雪で遊んだ後は鶏うどんであったまろう♪ ¥800(税込)



¥800- (税込)



# 冬の自然観察

▼動物の足跡を観察しよう△

秋の風景を赤や黄色に飾っていた木々の葉が全て落ち、キスゲ平にもいよいよ本格的な冬が来ます。雪が降り始めると、たくさんの花や鳥たちの声で賑っていたのが嘘のように静かになり、生き物たちの気配がすっかり消えてしまいます。

ところが雪がしっかりと積もってしまうと、それまで見えなかった動物たちの足跡が、くつきりと見えるようになり、こんなにたくさん動物が暮らしていたのかと驚かされます。

- 〈これまでに確認した動物の足跡〉
- ・ニホンジカ
  - ・タヌキ
  - ・テン
  - ・アナグマ
  - ・キツネ
  - ・ノウサギ
  - ・ネズミ



園地内で観察されたハタネズミ

\*ダイヤモンドダストを見に来ませんか\*

キスゲ平でも、寒い地域でよく見られる現象「ダイヤモンドダスト」を観察することができます。

- ① 氷点下 20 度以下の気温
- ② よく晴れていて無風
- ③ 湿度が高い

この三つの条件が揃って初めて見られます。この条件が比較的揃いやすいのは早朝です。初日の出の前にダイヤモンドダストを見たい！なんて、少し欲張りでしょうか？

## キスゲ平から初日の出を見よう！

元旦は朝 6 時～10 時までレストハウスをオープンいたします。(レストラン・売店を除く)

1 階テイクアウトコーナーにてコーヒーの無料提供(先着 50 名様)も行っておりますので、海まで見渡せるキスゲ平で初日の出を一緒にみませんか？



2015 年初日の出 AM7:09

## イベント情報

霧降高原にムチュー！キャンペーン第2弾

### キャンドルカフェ

in KIRIFURI

12.19(SAT)  
18:00~21:00

予約チケット ¥1,000  
ドリンク 2杯まで

キャンドル作り体験

予約チケットをご希望の方は下記メールにて  
✉ kirifurigenki@gmail.com

一夜限りのゆったり cafe タイム  
地元パティシエコラボのスイーツと  
ミュージックナイト

キャンドルの灯りとフルートの調べを聴きながら  
暖かい風情で素敵な夜を過ごしませんか？  
地元パティシエによるスイーツとコーヒーで  
普段とは違ったひとときを過ごせるはず  
会場では当日キャンドルの製作体験も出来ます  
皆様のお越しをお待ちしております♪

フルート奏者 福田 倫子 (Fukuda noriko)  
ピアニスト 荒井 庸子 (Arai yoko)

ワンプレイット  
**One Play-it**  
日光市所野 1550-73 ☎ 0288-53-3379  
無休店舗。アットホーム。手作りキャンドル体験  
開催場所：One Play-it (園内作業室)  
OPEN 18:00~21:00  
定員 50 名。予約優先。キャンセル料あり

### 編集後記

朝の数十分の野鳥観察が日課になりつつありますが、朝は寒いのでよく車の中から観察しています。すると結構近くに飛んでくる時があるので、寒さも防いで一石二鳥です。(八)



8×7の文字群の中から、隠された5つの植物を見つけ出せ！タテヨコナメの直線から探し出してね♪

出てきた植物の頭文字を並び替えてできる単語は、下の選択肢のうちどれ？

※植物は標準和名となります  
4文字以上の植物となります

- ① クマネズミ
- ② ナキウサギ
- ③ ユキウサギ
- ④ カヤネズミ

答えは霧降高原レストハウスで！

マ	ム	シ	グ	サ	ミ	ア
ヌ	ク	セ	ニ	ズ	サ	ネ
ク	ウ	キ	ヒ	ナ	ン	コ
ピ	ガ	キ	エ	ポ	ガ	ノ
シ	ネ	イ	ワ	コ	ゲ	メ
ゴ	ヲ	ニ	ソ	セ	オ	ソ
イ	ケ	ソ	パ	ウ	カ	ウ
ズ	タ	ヤ	ク	シ	ユ	ス



【発行】

霧降高原レストハウス TEL 0288-53-5337 〒321-1421 栃木県日光市所野 1531 URL <http://www.kirifuri-kogen.jp/>

\*指定管理者 一般財団法人 自然公園財団

集まれ! 環境教育のなかまたち ~ありそうでなかった、いろんな出会い~

# 環境教育 関東ミーティング

2016年2月13日(土)~  
2月14日(日)[1泊2日]

2015

@八王子セミナーハウス

(東京都八王子市下柚木 1987-1)

JR中央線「八王子」駅または、京王相模原線「南大沢」駅よりバス

環境教育や自然体験活動に関心のある方、既に実践している方など多種多様な人が集うミーティング。分野・年齢・経験をも超えたさまざまな人と、情報交換や交流ができる新たな出会いの場です。経験がない方でも大丈夫。お気軽にご参加ください。



- 主催 環境教育関東ミーティング実行委員会 (実行委員長 青木章彦)
- 共催 関東地方環境パートナーシップオフィス (関東 EPO)
- 旅行実施 (株)日本エコプランニングサービス
- 協力 NPO フュージョン長池、NPO 樹木・環境ネットワーク協会、日本環境教育学会 (予定)、(公社) 日本環境教育フォーラム、(公財) 東京都公園協会、(公財) 日本野鳥の会
- 対象 学生、個人、行政、企業、教育機関、NPO など環境教育に興味、関心のある全ての方
- 定員 140名 (先着)

<<お問い合わせ先>> (参加お申込みのお問い合わせは裏面)

関東地方環境パートナーシップオフィス (関東 EPO)

E-mail : [ee.kanto2015@gmail.com](mailto:ee.kanto2015@gmail.com)

TEL : 03-3407-8107 (担当 : 伊藤)

郵送物 : 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F

<http://kantomtjg.jimdo.com/>

f 「環境教育関東ミーティング」

t kantomtg



## ●2月13日(土)

受付開始 【11:30～】

基調講演 【12:30～】

「多様な人が集まる都市公園の実践から～里山がはぐくむ多様性と後継者～」

富永一夫 (NPO フュージョン長池 会長)

全体会 参加者同士の気持ちを共有しよう 【13:40～】

分科会A 【15:30～】

- ①都市公園発！地域の人と身近な自然をつなぐ取り組み <片山敦、杉山俊也、山田陽子>
- ②NPO 運営に必要な“選択と集中” <橋爪慶介>
- ③埼玉県産シカを使った革クラフトワークショップ (仮) <平井純子>
- ④大学と地域が行う人材育成活動～多摩川源流大学～ <石坂真悟、矢野加奈子>
- ⑤「よそ見」したら「ふと」始まる「いきもの時間」作り <荻本央>
- ⑥きのこ・粘菌と親しむ方法：自然体験活動への導入事例 <緒方光明>
- ⑦暮らしを創る自然学校 ～古民家を環境教育の場に～ <遠藤隼>
- ⑧誕生！インタープリターカー！活躍と今後の展開 (仮) <加藤達也>

ポスターセッション 【19:00～】

あなたの活動や研究を紹介しましょう！（要申込、先着順 ※数に限りあり）

・展示スペース：長机（幅90cm）＋展示ボード（幅70×高90cm）

・実施時間：常時展示いただき19時からの30分間は説明をお願いします。

交流会 【19:30～】

## ●2月14日(日)

早朝プログラム（希望者のみ） 【7:00～】

分科会B 【9:30～】

- ⑨地域の活動を応援しながら学ぶ「緑のボランティア」 <五十嵐章子、高瀬唯>
- ⑩大勢のサポーターを集めるコアジサシ保全活動の魅力 <北村巨>
- ⑪自然を広報する ～絵本で伝える人と自然の営み～ <向田智也>
- ⑫ツバメは減っている？ツバメを守るグランドデザイン <堀本理華、荒哲平>
- ⑬たんぼの生きもの調査～子供たちや地元の農家のみなさんと一緒に～ <高橋伸拓>
- ⑭環境保全でメシを食う <野村遼介>
- ⑮環境教育と里山保全をつなぐカードゲームの体験型ワークショップ <後藤洋一>
- ⑯今ここで、この自然をどう伝える？ 身近な自然観察入門 <小林今日子>

※ 分科会の詳細は、ホームページでご確認ください。

クロージング 【12:30～】

解散 【14:00】

エクスカーション（希望者のみ・終了時現地解散） 【14:30～】

「小山内裏公園視察」・“豊かな自然環境の保全”と“多様な人が関われる空間作り”の両立を実現

※（要申込、先着25名）、参加費無料 最寄駅：京王相模原線「多摩境」駅から徒歩

### お申込み

#### ■参加費

	11/30 までのお申込・入金（早割）	1/15 までのお申込
一般	13,000 円	16,000 円
学生（大学生まで）	11,000 円	14,000 円



#### ■お申込方法；下記ホームページよりお申込ください

<https://www.pac-sys.net/nmes-nankai/entry/?kantomtg.jimdo2015>

<お申込のみに関するお問合せ先> （お申込以外のお問合せは表面を参照）

(株)日本エコプランニングサービス TEL：03-5807-1691（担当：松山）

#### ■申込期間 **10月1日(土)～2016年1月15日(金)**（定員になり次第、締切）